

第7回福祉用具専門相談員研究大会

開催案内

【テーマ】

2040年を見据えた福祉用具支援の進化
～ 福祉用具専門相談員の役割と
PDCAサイクルの好循環モデルの構築 ～

2026年6月17日（水）

会場：KFCホール（国際ファッションセンター）
（オンライン併用）

大会長メッセージ

介護保険制度が施行されてから四半世紀が経過し、制度の成熟とともに福祉用具の役割も大きく変化してまいりました。近年は、介護保険制度の見直しや科学的介護の推進、エビデンスに基づくサービス評価など、現場に求められる要素がますます多様化しており、私たち福祉用具専門相談員も、単なる商品提供者ではなく、「生活を再構築する専門職」としての力量が問われています。

制度改正の流れを正しく理解し、適切なアセスメントと提案を行うことが、今後ますます重要になります。そして2040年、団塊ジュニア世代が高齢期を迎え、社会構造そのものが大きく変化します。人材不足や介護ニーズの多様化、AIやICTなどのデジタル技術の進展など、私たちを取り巻く環境はかつてないスピードで変化していくと考えます。

そのような中で、福祉用具専門相談員一人ひとりがこの変化を的確に捉え、専門職としての知識と実践を重ね、地域社会の中で信頼される存在であり続けることが、2040年に向けた私たちの使命です。

本大会テーマは、「2040年を見据えた福祉用具支援の進化」です。このテーマには、私たち福祉用具専門相談員が日々の実践の中で「計画（Plan）」「実行（Do）」「検証（Check）」「改善（Act）」の循環を自ら生み出し、より質の高い支援を積み上げていくという思いを込めました。PDCAを単なる管理手法として捉えるのではなく、「利用者の生活をより良くするための思考と実践の循環」として育てていくことが重要な目的です。

本大会も福祉用具専門相談員の幅広い活動の成果を広く周知する場となり、福祉用具専門相談員が職能として成長を遂げていることを業界内外に広く発信する絶好の機会となることを期待しております。福祉用具を取り巻く環境が大きく変わりゆく今こそ、最新の知見に触れ、実践を磨くことが求められています。ぜひ本大会にご参加いただき、皆様の確かな専門性を次のステージへと進める一助としていただければ幸いです。

福祉用具専門相談員一人ひとりにとって、自らの専門性を見つめ直し、次の時代に向けた新たな一步を踏み出す契機となることを願い、福祉用具専門相談員研究大会が今後も継続して発展し続けることを祈念して結びとさせていただきます。

第7回福祉用具専門相談員研究大会 大会長 岩元 文雄

1. 開催概要

【日程】

2026年（令和8年）6月17日（水）

【会場】

KFCホール（国際ファッションセンター）※オンライン併用
東京都墨田区横網一丁目6番地1号

【主催】

第7回福祉用具専門相談員研究大会 実行委員会

【共催】

（一社）全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

（一社）日本福祉用具供給協会（日福協）

【大会組織】

| | | |
|-------|---------|----------------------------|
| 大会長 | 岩元 文雄 | （全国福祉用具専門相談員協会） |
| 副大会長 | 柴橋 和弘 | （日本福祉用具供給協会） |
| 大会顧問 | 幸田 正孝 | （元 厚生省事務次官） |
| | 山内 繁 | （元 国立障害者リハビリテーションセンター研究所長） |
| 実行委員会 | | |
| 委員長 | 中川 敬史 | （株式会社ライフ・テクノサービス） |
| 委員 | 千葉 博 | （株式会社サカイ・ヘルスケア） |
| | 福島 伴彦 | （株式会社カクイックスウィング） |
| | 古沢 林太郎 | （株式会社トーカイ） |
| | 中沢 淳 | （株式会社ジェー・シー・アイ） |
| | 多田 和史 | （全国福祉用具専門相談員協会） |
| | 東谷 亮 | （全国福祉用具専門相談員協会） |
| | 篠原 昌幸 | （全国福祉用具専門相談員協会） |
| | 柳田 磨利子 | （全国福祉用具専門相談員協会） |
| | 江口 誠 | （全国福祉用具専門相談員協会） |
| | 伊藤 広成 | （日本福祉用具供給協会） |
| | 渡邊 健一 | （日本福祉用具供給協会） |
| | 淡路 陽子 | （日本福祉用具供給協会） |
| 運営協力 | 小林 毅 | （日本医療科学大学） |
| 顧問 | 酒井 博人 | （総合メディカル株式会社） |
| 倫理委員会 | | |
| 委員長 | 白澤 政和 氏 | （国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野 教授） |
| 委員 | 多田 和史 | |
| | 東谷 亮 | |
| 査読委員会 | | |
| 委員長 | 東畠 弘子 氏 | （国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授） |
| 委員 | 多田 和史 | |
| | 東谷 亮 | |

【後援】（予定）

厚生労働省、東京都福祉局

（一社）回復期リハビリテーション病棟協会、（公社）関西シルバーサービス協会、（一社）こうしゆくゼロ推進協議会、国際医療福祉大学大学院、姿勢・活動ケア研究会、（一社）シルバーサービス振興会、（一社）全国介護事業者連盟、（公社）全国国民健康保険診療施設協議会、（一社）全国デイ・ケア協会、（一社）全国福祉用具人材育成協会、全国福祉用具相談・研修機関協議会、（公社）全国老人福祉施設協議会、（公社）全国老人保健施設協会、（公財）テクノエイド協会、（特非）東京都介護支援専門員研究協議会、（一社）ナチュラルハートフルケアネットワーク、（公社）日本医師会、（一社）日本介護支援専門員協会、（公社）日本介護福祉士会、（一社）日本義肢協会、（一社）日本車椅子シーティング協会、（一財）日本車椅子シーティング財団、（一社）日本ケアマネジメント学会、（一社）日本言語聴覚士協会、（一社）日本在宅介護協会、（一社）日本作業療法士協会、（公社）日本社会福祉士会、（一社）日本褥瘡学会、（一社）日本生活支援工学会、（一社）日本ノーリフト協会、（一社）日本福祉用具・生活支援用具協会、（公財）日本訪問看護財団、（公社）日本理学療法士協会、（公社）日本リハビリテーション医学会、（特非）日本リハビリテーション看護学会、（一社）日本リハビリテーション工学協会、（一社）日本リハビリテーション病院・施設協会、福祉用具プランナー研究ネットワーク

※五十音順

【プログラム】（予定）

『第一会場：3階 KFC Hall』

- ・受付開始 9:15 ~
- ・開会式 10:00 ~ 10:30
大会長挨拶
来賓挨拶
- ・特別講演 10:30 ~ 11:30
座長：岩元 文雄 大会長
講師：宮本 隆史 氏
(株式会社善光総合研究所 代表取締役社長)
- ・演題発表 12:50 ~ 16:00
- ・シンポジウム 16:20 ~ 17:30
- ・閉会式 17:30 ~ 17:40

『第二会場：11階 Room111』

- ・ランチョンセミナー 11:40 ~ 12:20
- ・演題発表 12:50 ~ 16:00

『第三会場：11階 Room113』

- ・ランチョンセミナー 11:40 ~ 12:20
- ・演題発表 12:50 ~ 14:15
- ・老健事業報告 14:35 ~ 15:25

『第四会場：10階 Room107』

- ・ランチョンセミナー 11:40 ~ 12:20

『懇親会場：2階 KFC Hall 2nd』

- ・懇親会 17:55 ~ 19:20

【演題発表座長】

- ・内田 正剛 氏
(医療法人堀尾会 理事 熊本託麻台 リハビリテーション病院
リハケア部門 部門長 作業療法士)
- ・長倉 寿子 氏
(一般社団法人作業療法士協会 事務局長)
- ・小林 広美 氏
(一般社団法人 日本介護支援専門員協会 副会長)
- ・森島 勝美 氏
(一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用品協会 (JASPA)
介護リフト普及協会 会長)
- ・小松 優太 氏
(株式会社かんきょう 営業本部 首都圏営業部 埼玉支店 支店長)

~~2. 発表者募集要項~~ ※受付を終了いたしました。

【募集内容】

口述発表 40組程度（個人又はチーム）

【応募要件】

- ・日福協会員所属または、ふくせん会員の福祉用具専門相談員であること
※個人、事業所またはチームでの応募が可能です。
※チームでの応募の場合、筆頭の発表者は日福協会員所属またはふくせん会員の福祉用具専門相談員である必要がございます。共同演者には、他職種（介護支援専門員、作業療法士、理学療法士等）や、福祉用具メーカー（但し、日福協会員またはふくせん賛助会員に限る）の登録が可能です。
※上記以外の発表者形式をお考えの場合は事務局までお問合せください。
- ・別途、大会長または副大会長が推薦する者

【発表内容】

大会テーマに沿って、以下の発表を募集します。

| テーマ区分 | 関連キーワード | |
|---|----------------|---------------|
| テーマ1： 2040年を見据えた福祉用具支援 | テクノロジー活用 | ICT化 |
| | データ連携 | 人工知能 |
| | エビデンス | 介護DX |
| | 地域共生社会 | 遠隔支援 |
| テーマ2： 福祉用具利用効果の可視化とPDCA サイクルに基づく実践的評価 | ADL・QOLの維持改善 | アセスメント |
| | 評価スケールの活用 | モニタリング |
| | PDCAサイクル・貸与の利点 | 継続的改善 |
| | 福祉用具サービス計画 | データの分析 |
| テーマ3： 地域・多職種・安全利用の取組 | 医療職との協議 | 事故防止・再発防止 |
| | 地域ケア会議・地域包括ケア | リスクマネジメント |
| | 福祉用具の啓発 | 相談員のスキルアップ・育成 |
| | 災害・感染対策（BCP） | 自治体や教育機関等の連携 |
| | 認知症利用者への対応 | 事務所としての取組 |
| テーマ4： 利用者と家族の安全安心を実現する リフトの導入 | 安全安心な移乗方法 | 介護ロボット |
| | 介護者の身体負担軽減 | 吊り具の選定 |
| | 腰痛予防 | 介護リフトの有効性 |
| | 助成金制度の概要 | 多職種連携 |
| テーマ5： 経験3年未満相談員の福祉用具導 入事例（チャレンジ発表） | 自立支援 | 介護負担軽減 |
| | 介護予防 | 自己研鑽の取組 |
| | ADL・QOLの維持改善 | 地域における取組 |
| | 住環境整備 | 困難事例対応 |

※関連キーワードは演題作成にあたっての参考であり、全てのキーワードを網羅する必要はありません。

※調査方法などについてお困りの際は、お気軽に事務局までご相談ください。

※テーマ5にある「経験3年未満」とは、発表申し込み時点での経験年数といたします。

【演題登録料】

無料（研究大会当日の参加費も無料といたします）

【演題の二次使用权について】

演題（抄録）の二次使用权・許諾権は日福協及びふくせんに帰属します。

【発表方法】

- ・パワーポイントを使用して発表して頂きます。
- ・発表後、質疑と座長コメントの時間がございます。
- ・制限時間については、発表 7 分・質疑 3 分を原則とします。
- ・発表する場所は、現地会場又はオンラインを選択できます。

【募集期限】

発表エントリー 2026 年 1 月 30 日（金）

抄録原稿提出 2026 年 2 月 27 日（金）

【演題発表までの流れ】

- ① 発表エントリーを行います。（〆切：2026/1/30）
- ② 抄録原稿の書き方に関する動画を2月上旬に視聴します。（別途個別案内）
- ③ 抄録原稿を提出します。（〆切：2026/2/27）
- ④ 抄録原稿に基づき、倫理・査読審査、選考が行われ、審査結果が応募者に返答されます。（2026/3/下旬頃）
- ⑤ スライドの作り方に関する動画を4月上旬に視聴します。（別途個別案内）
- ⑥ 選考を通過した方は発表資料（パワーポイント）を作成し提出します。（〆切：2026/5/15）

※この段階で、発表する場所（会場又はオンライン）の希望をお伺いします。

【発表エントリーフォーム】

~~<https://forms.gle/5iwnyPuWGAZ4yQEx8>~~



募集終了

【抄録原稿の提出について】

別紙 1 「抄録原稿」に記入してご提出ください。抄録原稿の記入にあたっては、別紙 2 を参考にしてください。

審査を通過した抄録原稿は、抄録集として参加者へ配布されます。

【倫理的配慮について】

利用者等のプライバシー保護の観点から倫理的配慮について、本研究大会倫理委員会が確認を行います。研究の計画・実行・分析・抄録作成の過程では、個人の尊厳、人権の尊重に最大限の配慮をお願いします。抄録原稿様式において、具体的にどのような方法で倫理的配慮を行ったかを記述していただきます。原則として書面にて同意を得るものとします。（同意書参考様式は別紙 3 の通り）

【申し込みから当日までの流れ】

流れ①申し込み

【申込者】



発表エントリー※1



【事務局】



発表エントリー受付

【発表エントリー期日】
1月31日（金）

【申込者】



抄録原稿提出 ※1



【事務局】



抄録原稿受付

【抄録原稿提出期日】
2月28日（金）

【審査委員会】
倫理委員会

倫理審査

査読委員会

査読審査

選考審査

【事務局】

審査結果発送

【申込者】 ↓ 3月下旬頃



審査結果確認 ※2

流れ②資料作成～提出

【申込者】



パワーポイント作成

パワーポイント提出

【パワーポイントデータ提出期日】
5月15日（木）

【事務局】



パワーポイント受付

【審査委員会】倫理委員会

倫理審査

流れ③当日

現地発表・オンライン発表

【事務局】



映写

オンライン接続

※第1～3会場とも

【申込者】



演題発表

※審査結果が「発表可能」であった場合に、流れ②へ進みます。その際にパワーポイント作成にあたっての注意事項等をお知らせすると共に、発表する場所（会場又はオンライン）の希望をお伺いします。

3. 参加募集について（参加申込受付中）

福祉用具専門相談員の自己研鑽の場である本研究大会へのご参加を広く募集いたします。募集は現地参加とオンライン参加のどちらも可能としており、詳細については以下のとおりとなります。尚、現地会場ではランチョンセミナーやメーカーによる出展、懇親会の開催を予定しております。ふるってお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

【参加人数】

現地会場定員目安：約 350 名
オンライン参加可能人数：制限なし

【参加費用】 ※現地参加、オンライン参加とも同じです。

● 事前（割引）申込【5月29日（金）までのお申し込み】

ふくせん、日福協、後援団体いずれかの会員、
および賛助会員：1名 3,500円（不課税）

非会員：1名 5,500円（不課税）

※現地参加の方は、大会当日に抄録集をお渡しします。

※オンライン参加の方は、大会前日までに抄録集をお送りします。

※10名以上の団体でお申し込みいただく場合は、団体割引として参加費を一律10%割引いたします。（例：会員 3,500円 → 3,150円/人）

※団体割引は端数人数（11名、12名等）も含め、お申し込み人数全員に割引が適用されます。

※団体でのお申し込み方法は、Excel 申込書（事務局送付）をご利用いただきます。

● 直前申込【6月1日（月）から6月10日（水）までのお申し込み】

ふくせん、日福協、後援団体いずれかの会員、
および賛助会員：1名 5,500円（不課税）

非会員：1名 10,500円（不課税）

※事前（割引）申込と同様に抄録集をお渡ししますが数量に限りがございます。先着順となります事を予めご了承ください。

● 抄録集冊子のみの購入

抄録集冊子代：1冊 2,000円（不課税、送料別途430円（レターパック））

【参加申し込みについて】

2026年4月1日（水）より受付を開始します。

【キャンセルポリシーについて】

1. 参加費等（昼食代含む）ご入金後の返金について

お申し込み後の参加費等については、ご入金後の返金はいたしかねます。参加が難しい場合は、同一法人内での代理参加にてご対応ください。

2. 無断不参加の場合の取り扱い

参加申し込み完了後、事前のご連絡なく欠席された場合は、会場準備や資料作成等に係る実費が発生するため、参加費を全額ご負担いただきます。

※キャンセルポリシーの詳細は申込フォームにも掲載いたします。

※主催者である実行委員会は、適格請求書発行事業者としての登録を行っておりませんので、予めご了承ください。

【昼食について】

- ・ 会場指定以外の弁当等をホールへ持ち込むことは禁止となっております。
- ・ 会場指定の弁当（お茶付き税込み1,210円）はホールにて飲食可能ですので、参加申込時にご予約ください。または、会場周辺の飲食店を各自ご利用ください。※弁当お申し込み後の返金はいたしかねます。

【ランチョンセミナーについて】

ランチョンセミナーとは、セミナー主催者（協賛社）が受講者の昼食（弁当・お茶）を無償で提供し、受講者は弁当を召し上がりながら商品プレゼン等のセミナーを聴講いただくものです。今大会では、ランチョンセミナーを3会場で開催いたします。参加申込時にご予約ください。

・ランチョンセミナー①

時間：11：40～12：20

場所：11階 第二会場 Room111

演題：介護支援専門員が語る 福祉用具専門相談員に期待すること

講師：柴口 里則 様（一般社団法人 日本介護支援専門員協会）

協賛：パラマウントヘルスケア総合研究所

定員：80名予定（定員になり次第、受付を終了します）

・ランチョンセミナー②

時間：11：40～12：20

場所：11階 第三会場 Room113

演題：ケアマネジャー視点で読み解く 移動課題と外出支援の最新動向
～ 通信機能付き福祉用具によるモニタリングの可能性 ～

講師：池田 朋宏 氏（WHILL株式会社 執行役員 デジタル事業本部本部長）

協賛：WHILL株式会社

定員：72名予定（定員になり次第、受付を終了します）

・ランチョンセミナー③

時間：11：40～12：20

場所：10階 第四会場 Room107

演題：ベッドと周辺福祉用具の活用がケアを変える
— 臨床事例と研究知見から考える実践 —

講師：田代 大祐 氏（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科）

協賛：シーホネンス株式会社

定員：48名予定（定員になり次第、受付を終了します）

【懇親会について】

立食形式の懇親会を開催いたします。参加申込時にご予約ください。

時間：17：55 ～ 19：20

場所：2階 KFC Hall 2nd

会費：8,000円（税込）

定員：100名（定員になり次第、受付を終了します）

【お申し込みについて】

各種申込については以下フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/w61zGAPNGgnMVMgU8>



※通常（割引）申込締切は5月29日（金）とさせていただきます。
締切日を過ぎての申込は直前申込扱いになりますことをご注意
ください。

※団体（10名以上）でお申し込みされる際は以下のURLよりExcel
ファイルをダウンロードしていただき、ご記載の上事務局まで
お送りください。

https://www.zfssk.com/topics/kenkyutai/kenkyutai/form_group.xlsx

送り先

FAX：03-5418-2111

Mail: higashitani@zfssk.com



~~4. 協賛募集について ※受付を終了いたしました。~~

本研究大会では、ご協賛いただける法人様を募集いたします。
詳細につきましては、以下のとおりとなります。

~~(1) 広告協賛（抄録冊子） ※受付を終了いたしました。~~

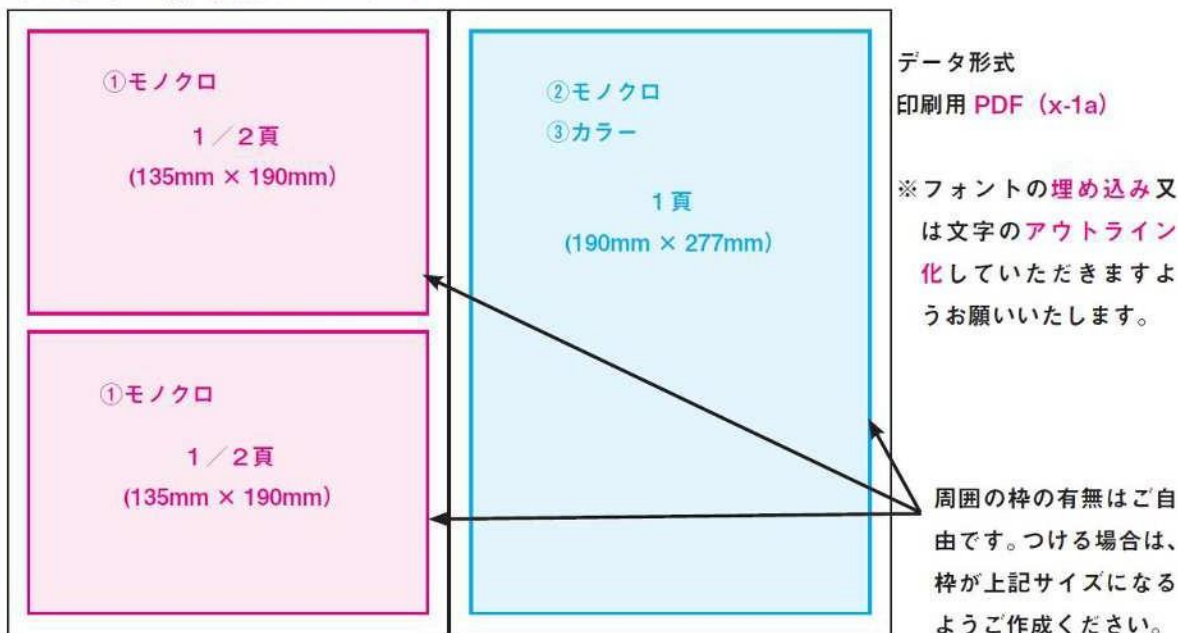
募集終了
募集終了
募集終了
募集終了
募集終了

| No. | 仕様 | 枚数 | 協賛金 | |
|--------------|--|---------------|---------------------|---------------------|
| | | | 会員※1 | 非会員 |
| 1 | 表4：カラ A4サイズ (190mm×277mm) ※2 | 1枚 | 165,000円 | 330,000円 |
| 2 | 表2：カラ A4サイズ (190mm×277mm) ※2 | 1枚 | 110,000円 | 220,000円 |
| 3 | 表3：カラ A4サイズ (190mm×277mm) ※2 | 1枚 | 110,000円 | 220,000円 |
| 4 | 抄録内：モノクロA4サイズ (190mm×277mm) | — | 55,000円 | 110,000円 |
| 5 | 抄録内：モノクロA4 1/2サイズ (135mm×190mm) | — | 33,000円 | 66,000円 |

※1：「会員」とは日福協、ふくせんいずれかの正会員および賛助会員を指します。

※2：表4とは裏表紙、表2とは表紙を開いた裏側（内側）、表3とは裏表紙の裏側（内側）を指します。

抄録集（A4判）広告頁レイアウトイメージ



~~(2) 展示協賛 ※3 ※4 ※受付を終了いたしました。~~

展示場所は、ホールへ入場する動線上にあるホワイエを区画して10枠を設定いたしました。当日は多くの方にご覧いただける場所となりますので、ふるってお申込みください。

募集終了

| No. | 仕様 | 枚数 | 協賛金 | |
|--------------|----------------------------------|----------------|--------------------|---------------------|
| | | | 会員 | 非会員 |
| 6 | 250cm×250cm 展示協賛（電源有） | 10枚 | 77,000円 | 154,000円 |

※3：先着順とし、展示ブースの位置は申し込みいただいた順に事務局で割り振らせていただきます。

ホール及びホワイエ（出展スペース）のイメージは以下リンクをご参照ください。

~~https://www.zfsok.com/prg_data/topics/PH1763087169.pdf~~

また、出展されるスタッフ用の昼食弁当（2名まで）をご用意いたします。

※4：広告協賛と併せてお申し込みいただきますと、20,000円を割引いたします。



(3) ランチョンセミナー協賛 ※5 **※受付を終了いたしました。**

| No. | 仕様 | 枠数 | 協賛金 | |
|-----------|---|---------------|---------------------|---------------------|
| | | | 会員 | 非会員 |
| 募集終了 7 | ランチョンセミナー (11:40~12:20 第三会場 約75席) ○オンライン配信可 ※6 | 1枠 | 110,000円 | 220,000円 |
| 募集終了 8 | ランチョンセミナー (11:40~12:20 第三会場 約65席) ○オンライン配信可 ※6 | 1枠 | 77,000円 | 154,000円 |
| 募集終了 9 | ランチョンセミナー (11:40~12:20 第四会場 約48席) ○オンライン配信要相談 | 1枠 | 77,000円 | 154,000円 |

※5: ランチョンセミナーとは、セミナー主催者（協賛社）が受講者の昼食（弁当）を無償で提供し、商品プレゼン等のセミナーを聴講いただくものです。協賛金の価格には、会場費及び標準機材費が含まれていますが、受講者の弁当代は含まれておりません。弁当は、指定ケータリング会社のメニューよりお選びいただき、別途お支払いいただきます。

※6: 撮影用カメラ1台（三脚固定）を当方で準備いたします。これ以外の撮影方法のご要望については、事務局までご相談ください。また、オンライン配信（アーカイブ掲示）にあたっては、講師の肖像権等について事前にご確認ください。

【各協賛申し込みについて】 **※受付を終了いたしました。**

各協賛申込については以下フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/aEYugevDzbfkkrnHA>



【注意事項】

申込期日及び広告入稿期日を 4 月 30 日(木)とさせていただきます。

5. ~~名刺広告募集について~~ **※受付を終了いたしました。**

本研究大会では、抄録冊子への名刺広告掲載を募集いたします。

詳細につきましては、以下の通りとなります。

【募集対象】

日福協・ふくせんの会員

【募集概要】

広告サイズ：縦 66mm×横 47mm

※お申し込み件数により枠サイズの調整を行う場合がございます。

掲載料：1 枠あたり 10,000 円

【名刺広告申し込みについて】 **※受付を終了いたしました。**

名刺広告申込については以下フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/eE8fU596YwN6GpML7>



【注意事項】

申込期日を 4 月 30 日(木)とさせていただきます。

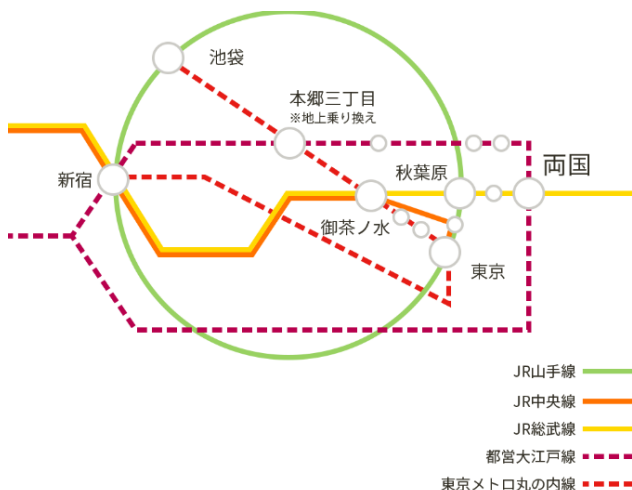
6. その他事項



【会場】

KFCホール（国際ファッションセンター）

所在地：東京都墨田区横網一丁目6番地1号 <https://www.tokyo-kfc.co.jp/access/>



【都営大江戸線乗換え】

都営大江戸線両国駅出口に直結しており、わかりやすく会場までお越し頂けます。(目安約25分)

1. 東京メトロ丸の内線で東京駅から、本郷三丁目駅へ。(4駅目)
2. 地上にて都営大江戸線に乗り換えて両国駅へ。(4駅目)
3. 両国駅の改札口は1つ、A1出口より徒歩0分で到着です。

【JR総武線乗換え】

JR両国駅から徒歩でのアクセスになりますが、地下鉄より少し早く会場へお越し頂けます。(目安約20分)

1. JR山手線で東京駅から秋葉原駅へ。(2駅目)
2. JR総武線に乗り換えて両国駅へ。(2駅目)
3. 両国駅東口より徒歩約6分で到着です。

(※西口からでもほぼ同じ距離です。)

本研究大会について、ご不明な点などございましたら以下事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 事務局（担当：多田、東谷、柳田）

電話：03-5418-7700 FAX：03-5418-2111

email：info@zfssk.com

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 事務局（担当：伊藤、淡路）

電話：03-6721-5222 FAX：03-3434-3414

email：jimukyoku@fukushiyogu.or.jp

